

# 清流 復活へ 大和川の挑戦

## 「日本一汚い川」からの脱却

昨年11月に県が中心となつて設立された「大和川」が本年度から始めた「ほたるの里づくり事業」が、大和川の支川、飛鳥川

# 盛況のホタル鑑賞会

川清流ネットワーク」。大和川の水質改善のためには「行政だけでなく、NPO、住民団体や企業を含めた取り組み」として、時代の流れに沿った新しい視点だ。

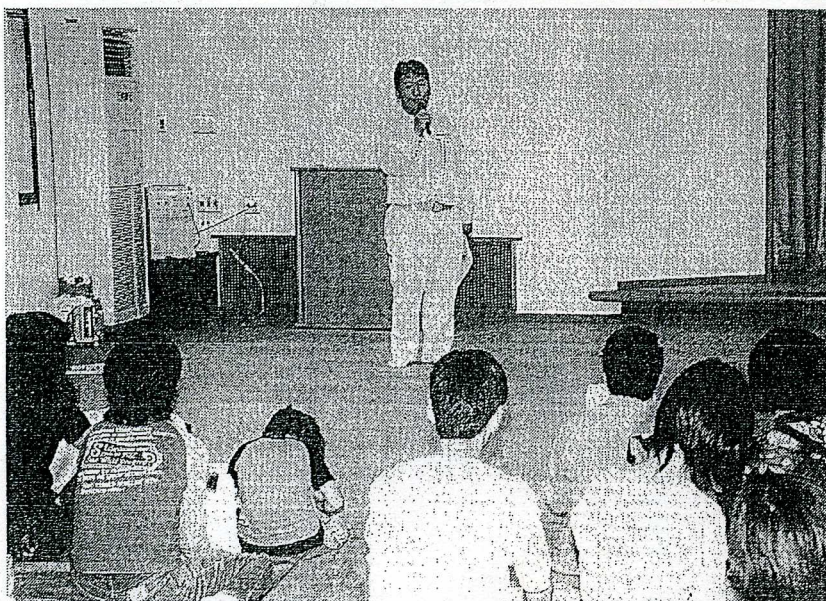
この中で、県環境政策改善を啓発する試みの一

業」。水路や川の水をきれいにしてホタルの飛び環境を」と県民の意識を高めてもらうためNPO「ASSUKA自然塾」に委託して6月13日にホタル鑑賞会を開いた。これもNPOとの協働で水質改善を啓発する試みの一

流域の会社員、教師ら有志が3年前に結成したのがASSUKA自然塾。同塾のホタル鑑賞会は4回目が、県からの委託事業として初めてで、今回は900人近くの応募があり、抽選で家族連れなど100人の県民が参

加した。飛鳥川でのホタル鑑賞の前に屋内会場に集合。島田昌則理事長のあいさつなどに続いて、中学校教諭、元教諭の会員らがホタルの生態、飛鳥川の様子などを分かりやすく解説。自然との共生を訴えた。

## 県がNPOに委託



NPOとの協働で開かれたホタル鑑賞会での説明の様子＝6月13日、明日香村内

るホタルの光は参加者に大きな感銘を与えたようだった。「ホタルの生態」について詳しい話を聞いた後だったので、より感動が深かった」などと感想が聞かれた。

県環境政策課は「水環境を考えてもらうきっかけづくりになれば、NPOと行政の協働をいろいろなカタチで進めていきたい」と成果を話していた。

※ ※ ※  
7月20日は「奈良県山の日・川の日」。山と川に親しむイベントが多数開催される。詳しくは大河川課、または大和川清流復活ネットワークのホームページまで。  
※ 毎月1回、下旬に掲載 ※

平成21年6月30日(火)奈良新聞 朝刊